

広汎性発達障害って (自閉スペクトラム症)



なあに？

はじめに

この冊子は、初めて広汎性発達障害の診断を伝えられたお母さん、お父さんが、おうちに帰って「何を言われたんだろう？」「何をしたらいいんだろう？」と思ったときに、手にとっていただければという思いで作成しました。

そして、子どもさんの子育てのヒントにしていだけるよう、広汎性発達障害の特性や対応をできるだけ読みやすいようにまとめてみました。

初めから読まなくても、気になるところなどから読んでいただいてもかまいません。おうちでこの冊子を開いたときに、“ちょっと元気が出るかも”と書いていただけたらうれしいです。

この冊子を作成するにあたっては、親の会や児童福祉センター、地域療育センター、幼稚園、保育園、そして区役所、保健センターの方たちのご協力をいただきました。また、お忙しい中、漫画家の石坂啓さんにイラストを快く引き受けていただきました。

名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋

4月2日は

世界自閉症啓発デーです。



も く じ

お読みいただく前に～診断名について～ ページ 2

こうはんせいはいったつしょうがい 広汎性発達障害って？

3つの基本的な特徴	3
その他よくみられる症状	6
広汎性発達障害のなかま	8
まれな障害ですか？	9
原因は？	10

どんなふうに対応するといいの？

対応の基本的な考え方	11
教えるときに気をつけること	15
困ったことに、どう対応するか？	16

お母さん、お父さんへ

幼児期には何を心がけると よいのでしょうか？	18
---------------------------	----

上手にサポートを使うには？

中央療育センター・地域療育センター	19
保育園・幼稚園	20
保健センター	21
子育て支援のサービス	22
障害児支援のサービス	23

支援機関・親の会 連絡先 24

コラム 9/14/ 15/23

お読みいただく前に～診断名について～

この冊子で使っている広汎性発達障害（自閉症、アスペルガー症候群を含む）という診断名は、アメリカ精神医学会によるDSM（精神疾患の診断・統計マニュアル）と、世界保健機関によるICD（国際疾病分類）に基づいています。しかし、DSMについては2013年に改訂され、自閉スペクトラム症という診断名に変更されました。ICDも改訂が予定されていますが、しばらくは複数の診断名が使われることとなります。

福祉サービスを受けるために行政上必要な診断書は、ICDに基づいており、広汎性発達障害という診断名が引き続き使われます。そのため、この冊子では初版作成時のまま、従来の広汎性発達障害という診断名を残しました。

また、DSMの広汎性発達障害と自閉スペクトラム症では、名称だけではなく、診断基準にも一部変更がありました。改訂前は、特徴の一部を持っていれば、広汎性発達障害と診断されましたが、改訂後は、すべての特徴を満たさなければ自閉スペクトラム症と診断されません。そのため、診断されるケースが限定される可能性があります。しかし、対応や支援方法が異なるわけではないので、この冊子ではほぼ同じものとして扱っています。

2015年6月

広汎性発達障害 (自閉スペクトラム症) って？

こうはんせいほったつしょうがい

広汎性発達障害という言葉は自閉症、アスペルガー症候群、非定型自閉症などのような自閉症と似た特徴を持つ障害の総称です。

★ 3つの基本的な特徴

では、広汎性発達障害全体に共通する特徴とはどんなものでしょうか。大きく分けて「社会性の発達の障害」、「コミュニケーションの発達の障害」、「想像力の障害とそれに基づく行動の障害（いわゆる「こだわり行動」のこと）」という3つの基本的な特徴があります。

● 社会性の発達の障害

広汎性発達障害の最も重要な特徴は人と関わりを持つときに必要な対人能力、すなわち社会性の発達の障害です。「人と興味や関心を共有する行動が乏しく、一人遊びが好き」、「人見知りや全くなき、母の後追いもしない」、逆に「母にべったりで、他の人との接触を極端に嫌がる」、「呼び掛けても振り向かない」、「視線が合いにくい」などが幼児期によくみられる症状です。しかし、症状の現れ方は一律ではなく、子どもの性格などによってさまざまな形をとります。



広汎性発達障害 (自閉スペクトラム症) って？

● コミュニケーションの発達の障害

典型的な自閉症の場合、以下のようなコミュニケーションの問題がみられます。

- (1) 言葉の遅れやオウム返しのような言語発達の問題
- (2) 指差しや動作の真似といった言葉以外のコミュニケーションの発達の問題



しかしそのような遅れが目立たないといわれるアスペルガー症候群でもやはりコミュニケーションの問題を抱えています。人がコミュニケーションをとる場合、言葉だけでやりとりをしているわけではなく、相手の表情、動作、声の調子、姿勢、その場の雰囲気などさまざまな対人情報を手がかりにしています。広汎性発達障害ではこうした情報を統合して処理することが上手くできないために、一方通行のコミュニケーションになってしまいます。

自分の要求を伝えるための十分な言葉の力を持っているにもかかわらず、会話になりにくいのは、こうした対人情報をまとめあげて、「相手が何を聞いたがっているのか」、「今、どんな気持ちでいるのか」などの他者の状態を推測する能力に障害があるためと考えられます。

広汎性発達障害(自閉スペクトラム症)って？

想像力の障害とそれに基づく行動の障害(こだわり行動)

今、ここにはないものについて考えたり、推測したりする力が想像力です。子どもがふり遊びや、ごっこ遊びをするようになるのは、この想像力があるからです。しかし、ごっこ遊びをしたり、絵や工作などに優れた能力を持つ子どもたちもいて、想像力がないなんて思えないという印象を持つことも多いでしょう。広汎性発達障害の場合、对人的な要素を含めた社会的な想像力の障害といった方が適切かもしれません。ごっこ遊びをしたとしてもパターン化したやりとりだったり、相手に合わせて柔軟なやりとりを楽しむことは苦手な場合が多いのです。

また、変化や予想外の展開に弱く、そのことがいつもの状態ややり方に固執する、いわゆるこだわり行動につながります。興味を持ち方に偏りがあり、好きなことには非常に熱中しますが、興味の対象がなかなか広がりません。



以上、基本的な特徴について説明しましたが、例としてあげたものがすべての広汎性発達障害の子どもにあてはまるわけではありません。子どもの对人的能力のレベルに配慮してくれる大人との関係の中では特徴が目立たない

広汎性発達障害(自閉スペクトラム症)って？

のですが、保育園などの集団生活に入って同年代の子ども同士の本格的な交流が行われるようになって初めてその特徴が明らかになることがあります。また、特徴の現れ方は子どもの性格や周囲の対応方法によってさまざまに変化します。だからこそ対応方法やしつけの工夫が有効であり、重要になってきます。



★ その他よくみられる症状

この他に、広汎性発達障害すべてに共通するわけではありませんが、よくみられる症状に次のようなものがあります。

▼ 感覚過敏

赤ちゃんの泣き声が苦手、大きな音を怖がるなど音に対する敏感さや洋服のタグを嫌がったり、締め付けるような洋服が着られない、身体に触れられることが苦手といった触覚の敏感さなどがあります。極端な偏食がある場合、食物の舌触りに対する敏感さが原因のこともあり、困った行動の背景に感覚過敏の問題があることがあります。

広汎性発達障害 (自閉スペクトラム症) って？

▼ 多動

幼児期の広汎性発達障害には非常によくみられる症状です。年齢があがるにつれて、落ち着いてくることが多いです。

▼ パニック

自分の思い通りにならない、予想していた通りにならないなど混乱した時に、感情のコントロールが上手く出来ず、激しいかんしゃくを起こしたりする状態です。

▼ 不器用さ

箸やはさみの使い方といった手先の不器用さやボールを投げたりキャッチすることが出来ない、縄跳びができないなどの協調運動の苦手さがあることも多いです。

▼ 睡眠障害

睡眠リズムが不規則、寝付きが悪いなど睡眠に関する問題を持つ場合もあります。



広汎性発達障害 (自閉スペクトラム症) って？



広汎性発達障害のなかま

広汎性発達障害は自閉症と共通の特徴を持つグループですが、自閉症の他に以下のようなタイプがあります。

- アスペルガー症候群—言葉の遅れや知的障害がない
- 非定型自閉症—広汎性発達障害の特徴の一部を持っているが、自閉症やアスペルガー症候群ほど3つの基本的特徴が明らかでないもの。「特定不能の広汎性発達障害」という言い方をする場合もあります。

従来は広汎性発達障害の各タイプを上記のように区別して診断していました。しかし2ページで説明したように改定された診断基準では、これらの各タイプは明確な境界線があるというより特性が強い人から弱い人まで連続したものと捉える考え方になり、自閉スペクトラム症という診断名に変わりました。

子どもへの関わり方を考える場合、自閉症であってもアスペルガー症候群であっても生じてくる問題や基本的な対応方法に大きな違いがあるわけではないので、同じ自閉スペクトラム症というとらえ方をして、あとはそれぞれの子どもの特性にに応じて工夫していくことが実際の対応には役立つと考えられます。

広汎性発達障害（自閉スペクトラム症）って？

★ まれな障害ですか？

どのくらいの頻度で生じるのかという有病率については、以前は典型的な自閉症で0.04%程度と言われていました。1990年代になってアスペルガー症候群なども含めた広汎性発達障害という概念が出てきてからの報告ではもっと多い数字が報告されるようになり、最近では2%という高い有病率が報告されています。これは小学校の1クラスに1人くらい広汎性発達障害の子どもがいるということになり、決してまれな障害ではないことがわかります。

コラム 1

この冊子をお母さんとお父さんはどんな気持ちで読まれているのでしょうか？ 毎日の子育てでイライラしたり、お子さんのことが心配で仕方がなかったり…。出口の見えない不安でいっぱいかもしれませんね。

でも、あなたが踏み出したこの一歩がお子さんにとってきっといい結果につながると思いますよ。（保健師）

広汎性発達障害（自閉スペクトラム症）って？

★ 原因は？

広汎性発達障害は先天的な脳機能の障害によって起こると考えられています。育て方やしつけの方法が原因で生じるものではありません。では、脳機能の障害が生じる原因については何が考えられるのでしょうか。

胎児期の異常などいろいろ議論があり、まだ最終的な結論が出ているわけではありませんが、現在、最も注目されているのが広汎性発達障害は多因子疾患の一つであるという考え方です。多因子疾患とは「複数の遺伝子と環境要因の相互作用によって発症する疾患」で、糖尿病や高血圧なども多因子疾患だと言われています。原因となる遺伝子を持っているだけで発症するわけではなく、原因遺伝子は疾患に罹るリスクを決定するだけです。

糖尿病を例に考えると、原因遺伝子を持っていて、そこに食生活や運動量などの生活習慣を含めたさまざまな環境要因が作用して、実際に発症して病気の状態になる人もいれば、原因となる遺伝子を持っていても環境要因をコントロールすることによって、糖尿病を発症せずに過ごす人もいます。

広汎性発達障害もこのような多因子遺伝によるものではないかという考え方が注目されています。



どんなふうに対応するといいの？

★ 対応の基本的な考え方

広汎性発達障害をもつ子どもへの対応の目標は、何らかの訓練や治療によって「ふつう」の子どもに近づけることではありません。先ほど述べたように脳機能の障害であり、現時点では根本的な治療法が確立されているわけではありません。ですから、ゴールとして目指すものはその特性を持ちながら、それと上手に付き合っその子どもらしい人生を送る力をつけること、健全な人格をはぐくむことです。これは広汎性発達障害の子どもに限ったことではなく、子育て全般の目標と全く同じということになります。ただ、対応する上で、その特性についてさまざまな工夫や配慮が必要だということが違うだけです。

「環境を整える」

1 すっきりと、シンプルに

必要なもの以外は目に触れないように片付けましょう。そして、何か伝えたいときにはテレビなどは消して余分な音が耳に入らないようにしてからにしましょう。ほんの些細な音でも気になってしまうことがあります。

また、物だけではなく、人の動きやことばも気になるものです。場所を変えたり時間をずらすなど工夫してみましょう。話をするときは、気になってしまう物と子どもと間に入ると、簡単にさえぎることができます。布などで覆って見えなくするだけでも違いますよ。

どんなふうに対応するといいの？

2 見てわかるように

いつも決まった場所で同じ活動をする、その場所で何をやるかがわかるようになります。そして、決まった時間やパターンで活動すると「いつ始まって、いつ終わるか」もわかるようになります。見通しが持てると安心して活動に集中できます。

3 安心して過ごせるように

周囲から情報を読み取ることが苦手なので、自分でわかって動けるところが好きです。よく知っているものや大好きなものがあるところ、不快な刺激が入ってこないところなど、一人でリラックスできる場所を確保できるとよいですね。



「コミュニケーション」

コミュニケーションはよくキャッチボールに例えられます。やりとりが続くには、ボールを投げることと取ることの2つが必要です。でも、お子さんは、キャッチボールの初心者です。コントロールも悪く、勢いも弱すぎたり強すぎたりします。また取り方も不慣れです。

どんなふうに対応するといいの？

1 やり取りする楽しさを

まず、お子さんが投げたものに周りが反応することを知ってもらいましょう。そのためには、どんなボールであっても受け取ってみましょう。独り言に聞こえたり、聞き取りにくいものもあるでしょうが、そのままマネしてみるだけでもいいですよ。言いたいことをわかってくれるという体験を通して、伝わることの楽しさを感じてもらいましょう。

やりとりが続くようになるとお互いに楽しいものです。コミュニケーションの楽しさに気づかせてあげてくださいね。

2 伝わっていない？

「わざとしているの？」「何度も言っているでしょ!？」「△△しちゃダメ！」などと言うことはありませんか？ お子さんからすると、「何を言われているか、よくわからない」「どうしたらいいかわからない」と感じている場合があります。

イメージすることが苦手なので、「△△しないで、どうしたらいいか？」がわかりません。だから同じことをやり続けてしまうのです。やるべきことを「〇〇します」と伝えると、わかりやすいでしょう。例えば「走っちゃダメ」ではなく、「歩いてね」「止まってね」と言った方が何をすることがわかりやすいですよ。

他にも、もともとのことばの意味をまちがって覚えている場合もあるので、まずどんな意味で覚えているかを確認してみることも必要でしょう。

どんなふうに対応するといいの？

3 わかるように伝えるには

日本語がうまく話せない外国の方とお話するときには、ジェスチャーや実物、絵などを使って、目で見えるかたち（＝具体的）にしますよね。そして短い言葉ではっきりとお話すると思います。お子さんにも同じようにするとよいでしょう。イメージが共有しやすくなるので、ことばを話せるお子さんにもわかりやすいでしょう。

「どうして…?」「何が…?」という漠然とした問いは初心者には難しいので、「◇◇が欲しいの?」「おなかが痛いのか?」「△と口のどっちがいい?」などと具体例をあげる質問にかえて、答えを選べるようにすると、答えやすいでしょう。

伝えるときは、「〇〇ちゃん/くん」と声をかけたり、子どもの視界に入ったりして注意をひきつけることも大切です。

コラム 2

園では、みんなと一緒にだからできることが、家で一人になるとできなくなることもあります。

反面、みんなのペースに合わせるとできないことも、家でその子のペースでみてあげること、できることがあります。

それぞれの環境のいいところを生かしながら子どもたちの成長と一緒に考えていけるといいですよ。 (園の先生)

どんなふうに対応するといいの？

★ 教えるときに気をつけること

ほかの人と同じものを見たり聞いたりしていても、感じているものは違うことがあります。

細かいところまできちんと覚えていることがある反面、肝心なところが認識されていないことがあります。逆に細部まできっちり記憶されているので、少しでも違いがあると全く違うものとして認識されて、「応用がきかない」「融通がきかない」という状況になることがあります。

また「見よう見まね」がとても苦手です。独学で覚えて修正がききにくいことがあります。遠回りのようでも、最初から細かく段階を踏んで正しいやり方を教えた方がよいことがあります。

「障害があります」と診断されてしまいとってもショックでした。そのときは、子どものことを話せる仲間がいたことで頑張れました。でも、今振り返ると一番身近で支えてくれていたのは、家族だったんだと気づきました。一人で悩まないで、色々なところに相談しながら一緒に考えていけるといいですよ。（先輩ママ）



どんなふうに対応するといいの？

★ 困ったことに、どう対応するか？

周りから見ると唐突だったり、わざと困らせていたりするときにも、お子さんにとっては1つ1つ理由があります。何を伝えなかったのか、その意味を考えてみましょう。

1 落ち着きなく、よく動く

子どもはもともと好奇心旺盛で、よく動きます。加えて視野も狭いのでキョロキョロしたり、自分の好きなものであれば、目に入るとひきつけられて体が動いてしまいます。

楽しいときだけでなく、不安なときにも人は落ち着きがなくなります。ある程度エネルギーを発散し探索意欲を満たせば、落ち着いてきます。それでもダメなら、わかりやすく安心できる環境を作るとよいですね。

2 パニック

まず、本人や周りの人がケガをしないように物や人を遠ざけます。むやみに声をかけたり体に触れるとかえって興奮させてしまうことがあります。おさまるまで待ってから「何をしたらよいか」を穏やかに言葉などで伝えましょう。気持ちを切り替えられる方法を（例えば落ち着ける場所へ行く、好きなうたを歌う、大好きなおもちゃを持つなど）普段から見つけておくとよいですね。

3 こだわり

こだわりは、お子さんにとって安定するための「お守り」

どんなふうに対応するといいの？

のようなものです。安心できるようになれば、「お守り」の数は少なくてすむようになります。無理にこだわりをなくそうとすると、かえってこだわりが強くなってしまふことがあります。こだわりとどう付き合うかを考えましょう。

もちろん、お子さん自身や周囲の人が病気やけがをするなど生活が大きく制限されるようなこだわりは減らしていく必要があります。いきなりなくすのは難しいので、「こだわってよい」場所や時間帯などを作ってみてはどうでしょう。

4 かみつく・たたく

子どもたちはかみついたりたたいたりして自分の要求を通そうとすることがあります。「一緒に遊んで」「そのおもちゃが欲しい」と思っているのに、適切な伝え方を知らないばかりに、つい短絡的な行動をしてしまうのです。コミュニケーションの力が育ってくると徐々にそのような行動は減ってきます。「あそぼ!」「貸して」など要求の仕方を教えてあげましょう。「使いたかったのね」等とお子さんの気持ちを代弁し、「貸して」と言って借り方の見本を示します。それから一緒にやってみるとよいでしょう。練習はゆっくり重ねていきましょう。また、周りの環境やその前後の状況を整えることで、防げることもあります。大人が工夫してみましょう。



お母さん、お父さんへ

★ 幼児期には何を心がけるとよいのでしょうか

幼児期に最も大切にしてほしいことについてお話したいと思います。それは「穏やかで信頼関係のある親子関係を作ること」です。成長に伴って、子どもたちはさまざまな困難に直面しなくてはなりません。人間関係はより複雑になり、多くの問題にぶつかることもあるでしょう。これは定型発達の子どものように、家族の支えや適切な同年代集団との付き合いの中で乗り越えていくものです。対人面やコミュニケーション能力の障害という特性を持つ広汎性発達障害の子どもであれば、的確な道案内をしてくれる信頼できる大人、つまり、家族の支えが何より重要だと考えています。

しかし、よい親子関係をつくるのが大事と言われても、それは決して簡単なことではありません。広汎性発達障害の子どもは、こだわり行動やパニックなど対応が難しい特性を持つことが多く、ご家族が途方にくれたり、余裕を失ってしまうことが多いのです。ですから、子どもへの対応を一緒に考えたり、子どもの成長について見通しをつけてくれる支援者の力を借りることも大事なのだと思います。子どもを支えるためには、お母さん、お父さんも守られ支えられることが必要です。ご家族だけでなく、保育園や幼稚園、保健センター、療育機関、親の会などいろいろな社会的な資源を活用してみてください。

上手にサポートを使うには？

ここでは、お子さんやご家族のためのさまざまなサービスや制度の活用についてご紹介します。

★ 中央療育センター・地域療育センター

● 医師の診察や心理職員による発達相談

問診や発達検査等を通して総合的に診断や相談を行っています。診察や面接は予約制ですが、センターによっては電話で相談することもできます。また、お子さんの年齢や状態に応じて、以下の支援を紹介することがあります。

▼ 療育のグループ

遊びを通して、親が子どもの特性や発達の理解を深め、スタッフと共に対応について考える場です。お子さんがおうちや園で落ち着いて生活できるように支援します。

▼ 作業療法、言語療法など

手先がうまく使えない等からだの動かし方や日常生活動作についての訓練、場面に応じたことばの使い方の訓練をします。対象や頻度は各センターで異なります。

- 障害児支援のサービス（⇒P23参照）、地域の子育て支援サービス（⇒P22参照）などについて、相談に応じます。区役所での手続きについても説明しています。

上手にサポートを使うには？

★ 保育園・幼稚園

市内の保育所等では障害児保育という形で、幼稚園では特別支援教育という形でサポートがあり、多くの園で対応が行われています。初めて集団生活を経験する場なので、お互いにわかり合えるかたちでスタートできるとよいと思います。

そのためには次のことに気をつけたうえで、お子さんにあった園を選びましょう。

- 園を決める時に、まず直接連絡し、園の体制や取り組みを聞いてみましょう。
- 見学日や園庭開放などの時を利用して実際に見たり、相談したりしてみましょう。もちろん個人的に相談や見学することも良いでしょう。
- 診察や療育などの際に伝えられたお子さんの情報（好きなこと、嫌いなこと、苦手なこと、ことばの理解、意思表示の方法、自分でできる身の回りのことなど）や、ご家族が不安に思っていることを率直に伝えてみましょう。
- お子さんについて詳しい支援者に相談してみましょう。

初めての環境になれるのに時間が必要な子どもたちです。入園後の集団生活では次のことに気をつけましょう。

- お友達と仲良く楽しく過ごして欲しいという思いもあるで

上手にサポートを使うには？

しょうが、まずは先生とのやりとりで練習することも大切です。あせらずゆったり見守りましょう。子ども同士のトラブルはつきものですが、その予防にもつながるでしょう。

- 「ならし保育」の期間を長くしたり、短時間の通園から始めることも必要な場合があります。園とご家族と協力しあうことが大切です。



★ 保健センター

健診が終わったり、他の相談機関を紹介されたからといって、担当の保健師さんとおつきあいは終わるものではありません。健診後や入園後も、困ったときは相談してください。

- 幼稚園や保育園を選ぶ際に、地域にある園の「教育・保育方針、雰囲気、日課や年間生活の流れ」などについて相談することもできます。
- ご家族が了承すれば、園と情報を共有しあって、サポートを考えることもしています。
- 区によっては、親の会（グループ）が開かれているところもあります。詳しい情報は保健センターへ直接お問い合わせください。

上手にサポートを使うには？

★ 子育て支援のサービス

区役所民生子ども課は、保育園の入所の手続きだけでなく保育園での一時保育や乳児院・養護施設でのショートステイの窓口にもなります。

子育て支援の情報は、インターネットやお友だち、知り合いの方たちからもたくさん入ってくると思います。名古屋市でもさまざまなサービスがあります。その中で、お子さんの発達や障害特性などを踏まえて選ぶときには、保健師さんや相談機関の職員などに相談するのもよいでしょう。ここでは主なものを紹介しています。詳しくは、保健センターにて配布された子育て応援ブック「なごやっ子」をご覧ください。

- 子育て支援サークルや親子教室などで、スタッフに相談することもよいでしょう。集団の場で過ごすことも子どもの発達をうながすことになるでしょう。お近くのサークルや教室については、保健センターに問い合わせるとよいでしょう。
- 名古屋のびのび子育てサポートやシルバー人材センター等が行っている子育て支援サービスでは、お子さんのお世話のお手伝いや、園や学校の送迎などに利用できます（有料）。



上手にサポートを使うには？

★ 障害児支援のサービス

障害のあるお子さんが受けるサービスの相談や手続きは、区役所福祉課が窓口になります。

児童発達支援や放課後等デイサービス、外出のときにヘルパーさんが付き添ってくれる移動支援などのサービスがあります。

詳しいサービスの種類などは窓口で相談するとよいでしょう。障害児支援のサービスは愛護手帳や精神障害者保健福祉手帳などの障害者手帳だけでなく、発達障害の診断書でも利用することができます。

「何回言ってもできない」「なんでできないの!?!」「あの子はできているのに…」など、障害のあるなしに関わらず、ついつい他の子と比べてしまっていました。親も子もイライラして、不安は大きくなるばかり。

でも後から数ヶ月前、1年前の子どものことをふり返ってみると、この子なりに成長しているところはいっぱいあるなって気づきました。その時できなかったのは、当時はそれを吸収するタイミングじゃなかったんだ、この子のペースじゃなかったんだと今は思います。ちょっと待つ期間が必要なきもあるんじゃないかな。

いつだって不安はあって当たり前だけど、それをわかってくれる人が1～2人いるだけで乗り越えられることもありました。一人で抱え込まないで。(先輩ママ)

コ ラ ム 4

支援機関・親の会 連絡先

施設名(所在地)	お住まいの区	電話番号
中央療育センター (昭和区折戸町4-16)	中・昭和・瑞穂 熱田・天白	757-6126
西部地域療育センター (中川区小本1-20-48)	中村・中川・港	361-9555
北部地域療育センターよつば (西区新福寺町2-6-5)	東・北・西	522-5277
南部地域療育センターそよ風 (南区三吉町6-17)	南・緑	612-3357
東部地域療育センターぽけっと (千種区猫洞通1-15)	千種・名東・守山	782-0770

※小学生以上18歳未満の方は、中央療育センターにお問い合わせください。

当事者団体・親の会

団体名	主な対象	連絡先	ホームページ
名古屋手をつなぐ育成会	知的障害	Tel: 671-6211	あり
NPO法人 愛知県自閉症協会 ・つぼみの会	自閉症などの 広汎性発達障害	Tel: 323-0298	あり
あいちLD親の会 かたつむり	LDなどの 発達障害	info@katatumuri- aichi.org	あり
NPO法人 えじそんくらぶ (なごや親の会)	ADHDなどの 発達障害	usaginobotann @ybb.ne.jp	あり
NPO法人 アスペ・エルデの会	発達障害	info@as-japan.jp	あり



広汎性発達障害ってなに？（幼児期編） （自閉スペクトラム症）

2009年3月 初版

2023年4月 第4版 発行

編集・発行：名古屋市発達障害者支援センター

〒466-0858 名古屋市昭和区折戸町4-16

電話 052-757-6140 F A X 052-757-6141

E-mail links@kodomoseishonen.city.nagoya.lg.jp

印刷：木野瀬印刷（株）

イラスト（人物）：石坂 啓

名古屋市発達障害者支援センター リンクス名古屋

※ 無断転載、転用等はお断りいたします。